

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2793000197		
法人名	スターツケアサービス株式会社		
事業所名	グループホームきらら東淀川		
所在地	大阪市東淀川区東中島6-8-12		
自己評価作成日	令和2年10月22日	評価結果市町村受理日	令和3年1月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター		
所在地	大阪市中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 4階		
訪問調査日	令和2年11月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所として、スローガンにあるように「継続は力なり」ご入居者様の健康についても日々の継続によって成り立っている。家事をして頂き役割分担している。また、健康上の問題で家事ができなくなっている方には、目で見える風景を変えるように定位置ではなく移動して景色を見て頂いている。食事については、地域の商店からの食材を利用している。1階・2階ユニット合同で「カラオケ」「焼肉・お好み焼き」の食事会をしている。又、毎朝のDVD体操も実施している。現在、ご入居者様の中では「ぬり絵」「パズル」がブームとなっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業主体は関東エリアを中心に介護事業を展開しており、当事業所は関西エリア初のグループホームとして2016年3月に開設された。利用者に合わせて「し過ぎないサービス」を心掛け、事業所のスローガン「継続は力なり」をモットーに、利用者が自立した日常生活を営めるよう支援している。利用者18人中12人が90歳以上と高齢であるが、キッチンに立ち包丁を使いネギを刻む、洗濯物を畳んだり、ワイパーで床を掃除したり、昼食時にはランチョンマットを敷きお茶の用意をするなど、職員の細やかな見守りと家族の協力のもと生きがいある日常生活を送っている。寝たきりの生活を送っている利用者には、リクライニングの車いすを使用し共用空間を移動しながら窓の風景を眺め、キッチンからの匂いや音を感じるよう工夫するなど一人ひとりの心を大切にしながら支援している事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・「その人らしさ」を何よりも優先し心を込めたサービスを提供します。 ・「社会福祉に携わる者としての自信と誇り」を持って行動しここをの豊かさをはぐくみ続けます。 ・「地域社会の一員」であることを自覚し人々との心の触れ合いを大切にします。 	<p>企業理念「人の心を大切にし、ふれあいを通じて笑顔、安らぎ、喜びを提供します」と左記の運営理念を、朝礼時や月1回の全体会議の中で事例に基づいた具体的な行動を説明している。利用者家族には毎月送付している便りに記載し周知している。また事業所のパンフレット、職員の名刺裏面にも記載し、広く周知を図っている。</p>	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏祭り出店及び参加 ・ボランティアの受け入れ <p>地域の方との交流を積極的に取り、自治会会議にも参加しています。</p>	<p>自治会に加入し、地域の夏まつりには櫓を組む手伝いをしたり、出店し利用者・職員共に車で出かけ参加している。また事業所での野菜作りでは近隣住民がミニ耕運機を持参して手伝ってくれる。食材購入では、利用者・職員が近隣店舗と一緒に買い出しに出かけ日常的に地域交流を行っている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの開催 ・介護支援専門員による「認知症の話」 	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見守りボランティアとして企業参加 ・避難訓練の際地域の方の参加が出来るように告知 ・認知症カフェ実施時に自治会よりテントをお借りしました。 	<p>偶数月の第2土曜日に家族会と同時開催している。自治会会長、地域包括支援センター職員、民生委員、婦人会会長、薬剤師に加え利用者・家族、職員が参加している。事業所の現状報告、事故報告、活動報告と相互の意見交換に加え、身体拘束防止会議も行っている。外部評価結果の開示も行い、本年からは全家族に議事録を送付している。</p>	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター4か所とは連携を密に図っている。 ・キャラバンメイトとしての活動を通し認知症を理解していただく機会を得ている。 	<p>区の介護保険課とは事故報告等で連絡を取り合っている。また全国キャラバンメイト連絡協議会は毎月開催され、地域の集会所、警察署、小学校に管理者が出向き、認知症の理解と啓発に努め、協力関係構築に取り組んでいる。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待研修を年2回実施 ・玄関及びユニットの鍵の開放を実践しています。 	法人作成の身体拘束廃止の指針に基づき、規定通り身体拘束廃止委員会と研修を行っている。玄関と各ユニットの入り口は利用者の安全確保のため施錠しているが、利用者の希望があれば職員の見守りのもと開錠している。家族からの要望で居室フロアにセンサーを取り付けている利用者もいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・年二回の虐待防止研修の実施 ・あざや身体の変異があったときは写真や記録に残し原因を明らかにして見過ごすことの無いようにしています。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護について勉強会を実施し活用できるように支援しています。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時は重要事項説明及び運営規定の内容を十分説明し理解納得していただいております。 		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情、要望箱の設置 ・家族会により要望があれば運営に反映しています。 ・日頃より訪問家族には近況の報告や体調のわずかな変化もお伝えしています。体調面は電話でも細かくお伝えしています。 	利用者家族の来訪頻度は毎日から1週間と様々であるが、事業所ではできる限り声掛けをするようにしている。電話による苦情で職員からの言葉による不適切対応があった際には、法人担当者、管理者により全職員の聞き取り、利用者・家族と話し合いを重ね、風通しの良い職場環境を整備し、再発防止に全職員が取り組むこととした。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・職員からは業務提案書を提出してもらっています。 ・職員の提案は日々のケアに活かされております。	法人代表・マネジャーは週2回来訪し、個人面談は年2回行っている。運営に関する職員の意見は業務提案書を提出しカンファレンスを行い全職員の意見を聞いて反映させることとしている。利用者の布団を干すことにより布団が変わることがあり、それを嫌う利用者のために布団乾燥機を使用することとした例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・人事考課や休日の取得等適宜行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・OJTの導入 ・社内介護キャリア段位評価制度		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・グループホーム連絡会に所属しネットワーク作りや相互訪問等の活動をしてサービスの向上に取り組んでいます。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・相談から入居に至るまでのサービス導入時期には丁寧なアセスメントを行いご本人が困っていること、不安なこと、要望等を丁寧に聞き取り安心して頂けるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・相談から入居に至るまでのサービス導入時期には丁寧なアセスメントを行いご本人が困っていること、不安なこと、要望等を丁寧に聞き取り安心して頂けるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後もサービス担当者会議やご本人、ご家族の要望や必要なサービスを提供できるよう支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人と職員はともに過ごす生活を出来るよう支援しています。その為日々の生活の中で本人から教えを乞う事のできる関係を大切にしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは密に連携をとり小さなことも電話や訪問時に報告しています。家族も希望や不安を遠慮なく述べられる関係性を大切にします。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が培ってきた人間関係や馴染みの場所には極力出かけ、馴染みの人にも気軽に訪問して頂きやすい環境を作ります。	入居時と入居後の利用者・家族からの聞き取りにより馴染みの関係を把握している。年初には全員で神社に出かけるが、家族と一緒に墓参りや喫茶店に行く利用者もいる。高齢なため馴染みの関係は希薄になってきており、職員は事業所内での馴染みの関係づくりを心掛けている。利用者同士で楽しめるレクリエーションを行ったり共用空間での席の配置に配慮している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が声をかけあえるよう和やかな環境を作れるよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者の心身状況や個別の事情等でサービス利用が終了したのちもその後の相談や支援に応じることが出来ることを示しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者がその人らしく暮らし続ける支援に向けて利用者一人ひとりの思いや希望、意向等の把握をし職員一人一人が関心をほらい把握するよう努めています。	通常はペースト食である利用者が寿司を食べることもあり、好きなものは食べられることがあるため利用者の意向把握を心掛けている。特に「食」に関しては利用者の希望をかなえながら1・2階で違うメニューを作り、利用者は好きなメニューのフロアに行ったりしている。意向の把握が難しい利用者には顔つき、目の表情、声のトーンに注意している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人が有する能力を発揮できるよう利用者個々の歴史や入居に至った経緯を把握します。プライバシーにも配慮しつつ職員が本人や家族のこれまでの生活に配慮した支援を行います。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者を総合的に見つめることの出来る力や解る力を理解し支援します。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントとモニタリングそして担当者会議を繰り返しながら見直し、本人家族の要望を反映させ意見やアイデアを反映して現状に即した介護計画を作成しています。	長期目標1年、短期目標半年とし、入居時のアセスメント、支援経過記録に基づき、毎月モニタリングを行い、管理者、ユニットリーダー、計画作成担当でサービス担当者会議を開き介護計画を作成している。内容については朝礼時に話し合い、職員間で情報共有している。利用者・家族への説明は計画作成担当が行い同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活を記録し職員の気づきやアイデアを反映させ個別記録に記入している。職員間で情報を共有しながら介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者のニーズに応じてきめ細やかなサービスを提供できるよう職員同士情報を共有し柔軟な支援をします。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センターの方と共働き馴染みの商店街や理美容店に足を運べるよう支援する。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	本人と家族の同意を得て事業所の協力医療機関等に継続して診察を受けることと従前のかかりつけ医の診察を継続して受けられるよう支援しています。歯科医も同様の支援をします。	協力医療機関の医師(内科・精神科・ものわずれ科)をかかりつけ医として月2回の訪問診療を、希望者は週1回来所の歯科医による往診を受けている。他の専科については、かかりつけ医の指示書を持って家族が選択する医療機関で受診し、診療内容はかかりつけ医に報告されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間365日訪問看護ステーションとは連携をとる事が可能であり適切な指示を受けている。必要に応じて看護師の駆けつけも出来る。日々の健康管理や医師との連携は密であり健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院する際は本人のストレスや負担を軽減するために家族等と相談しながら医療機関と連携し本人に関する情報の提供やケアについて話し合いを実施。退院時は病院関係者、本人、家族と退院計画を話し合う。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	段階ごとにかかりつけ医、家族等と相談意思確認を密に行い、事業所の対応を臨機応変に医師の指示と家族の意向の元、チームで支援をします。	入居時に、重度化や終末期対応の指針を説明し同意を得ている。必要時にかかりつけ医・家族・事業所と面談を重ね、日常ケアの延長線上でのケアとして対応している。開設以来4名の看取りは、中高年職員の経験が活かされ、チームケアがスムーズに行われたとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	あわてずに確実かつ適切に行動し、職員が応急手当を定期的に訓練し実際の場面で出来るよう技術を習得します。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	一人一人の利用者の状態を踏まえて災害時の具体的な避難誘導が出来るよう年二回の避難訓練を実施し、そのうち1回は夜間を想定して行います。非常時の備えとして食糧、水、トイレを備蓄しています。	既定の訓練の実施以外に、地震と水害に備えて独自の避難訓練を11月に行う予定がある。訓練時の行程と反省事項を記録し、次回への資料としている。食料の他、種々の防災用具の備えもある。夜勤専任の非常勤職の訓練は実施されていない。	一般的な防災策定表はあるが、当事業所の立地・構造上・利用者状態・職員の勤務体制などの条件に適した独自の策定表を作り、それに沿ったミニ訓練の反復を期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を尊重しプライバシーの確保をしています。また、研修等を実施し職員全員で取り組んでいます。	集団生活の多様性の中で個性の取りこぼし・置いてけぼりを作らないことを主眼としている。日常での様々なケアでの言葉かけや介助時の動作に注意を払い、利用者の表情からその原因を探り対応を考えて、その人らしさを失わない支援を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が言葉では十分伝えることが困難な場面において表情や全身状況から感情の表出が出来るよう支援します。日々の中で表現される言葉だけではなく本質をキャッチできるように本人の希望や好みを把握します。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の動きや希望に合わせて適切な関わり方をし一日の過ごし方を柔軟にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの個性や希望に寄り添い、ヘアスタイルや衣服を選んで頂けるよう支援します。好みの化粧品も使っていただけるよう支援します。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の一連の作業を買い物時から利用者と職員が一緒に行っています。好みの食事をとって頂けるよう希望をきいて実現しています。	ユニットごとの献立で、肉・魚は地元商店で他は近くの量販店で購入し、一緒に調理して食べて、後片付けをしている。99歳のネギを刻む手際の良さ、97歳のイモの皮をむく包丁さばきの確かさに感服する。外食の替りにマクドナルドや寿司をテイクアウトで楽しみ、所内でのフグ鍋・すき焼き、手作りのお節などにはノンアルビールが登場している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通してカロリーや水分が取れるよう支援しています。また、病状に応じて医師より制限のある利用者には食事量の増減を図っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは本人の長年の習慣を尊重しながら口腔ケアの大切さを職員が理解し支援します。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	可能な限りトイレで排泄して頂けるよう支援します。おむつやリハビリパンツの使用は出来るだけ減らせるよう支援します。	立位・座位の可能性と尿意・便意が分かるを活かしている。介助の必要性について失禁は「出て良かった」とし、試供品を試してみる、また本人納得と家族との相談でリハパン・パットの使用もある。入退院でのおむつ使用は、殆どの方が布パンツに改善されている。一人ひとりを見極めての支援が自立に繋がるとして努力している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の内容を考慮し繊維質のものを多く採れるよう献立の工夫をします。体を動かしたりしながらスムーズな排便を促します。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人の意向を考慮しくつろいだ気分で入浴できるよう支援します。その際生まれる羞恥心や恐怖心等を理解し強要することなく入浴して頂けるよう支援します。	週2～3回、午後に3人を基本としている。現時点では入浴拒否は無い。浴槽に入れない人が歩行器で歩いてむくみを取るなどの工夫で湯に浸かるようになった事例を持つ。法人負担のレク費(月に一人200円)で、月に一回入浴剤で各地の温泉を楽しんでいる。湯は一人毎に入れ替えている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人にとって必要な休息や睡眠がとれるよう時間にこだわらず睡眠をとれるよう配慮します。眠る事だけにとられず本人の活動状況やストレスの状況等を総合的に把握します。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人が服用する薬の目的や副作用を用法用量を理解し正しく服用できるよう支援します。また、誤嚥や誤薬を防ぐため服用マニュアルの徹底や研修を実施します。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人にあった役割や楽しみ気分転換の支援をします。嗜好品を楽しんだり生活習慣を理解し支援をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人が外出できるよう服装や履物の準備を支援します。日常的に出かける際にも本人の思いや懐かしい場所にも立ち寄れるよう支援します。	従来は、車での遠出や観劇、季節的外出などを楽しんでいたが今年は何れも自粛中である。感染防止体制で周辺の散歩は続けており、水やりや洗濯物干しなど外気に触れる機会を大切にしている。コロナ禍の様子を伺いながら、ドライブでの紅葉狩りを計画し、行けるときの行こうを実践したいと努力している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所では預り金に関する確認書を用意し説明の後合意をえてお金を預かっています。また、本人の買いたいものは家族の同意を得て購入して頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一人一人の希望に応じて外部との通信を支援しています。電話は自由にかけられますし手紙は郵便だけでなくFAXでの手紙も支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人らしい生活を実現できるようソファや椅子の配置に工夫をしています。温度や音、光なども利用者本人の希望をきき実現していけるよう支援します。	開放的な空間に、利用者の個性に配慮したテーブル(食事・作業など)と、数人での寛ぎに適したソファの他に、一人用の場所の設えがある。壁面には季節に応じて皆で作ったものや数枚の絵画が飾られ、明るさと落ち着きのある場所となっている。共有空間も夫々に清潔に保持されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	人の気配が感じられる中で一人にまたは二人～三人になれる空間を用意しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人一人の居室については馴染みの家具や写真などを配置しています。その人が落ち着いて過ごすことが出来るよう支援しています。	既設のベッドと持ち込んだ馴染みの調度品が安全に配慮して設置され、思い出の写真やレクでの作品、往年の趣味の品々がその人らしさを表す風景となっている。コロコロ掃除機で自分の部屋を綺麗にすることが、自分の住まいを意識し、自立につながるとして職員は見守り、居心地の良さを保っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の身体機能にあわせてテーブルの下に足置き場を用意しています。またトイレの場所が分かりやすいように表示をしています。		